

試験植樹の実施について

1 目的

水処理施設稼働終了後の本植樹実施に向け、現場内土壌を利用した場合の生育可能性を検討するため、今年度、不法投棄現場において試験植樹を実施します。

2 試験植樹の概要

試験植樹には、田子町が所有しているポット苗木を使用し、次により実施します。

(1) **実施時期** 平成 22 年 9 月～10 月

(2) **植樹場所** 植樹場所は法面に囲まれた緩傾斜面で、面積は約 100 m²（東西約 20m、南北約 5m）を予定しています。

不法投棄現場全体の地質は、軽石層、火山灰層、ローム層及びこれらの混合層が分布していますが、試験植樹実施場所の表層はローム層（粘土質）であることが確認されています。

(3) **植樹方法** 試験植樹は、ミズナラ、アオダモ、イタヤカエデ、シラカンバ、ハウチワカエデ等の樹種を使用し、土質の違い（ローム層（粘土質）単独の場合、ローム層（粘土質）と軽石層との混合の場合等）等の試験の手法について、庁内及び地元事業者等、専門家の協力を得ながら実施します。

(4) **モニタリング調査** 個体数、活力度、サイズ、根茎及び周辺植生等についてモニタリングを行います。

